

# 看護ゼミにゅーす 10月号

2013年10月18日 看護ゼミ報告(ゼミ委員会 10/24 発行)



## 演題「『永久に病院で過ごしたい』と願うA氏の退院調整の取り組み～患者参加型看護計画を通して～」 6東病棟 飯森さん

統合失調症があり、40代でがんと診断されたA氏。6東に転棟時は、傾眠がちで、食事に2時間かかり、褥瘡もありました。次第に疼痛コントロールもでき、外出も楽しめるように。「永久に病院にいたい」というA氏に患者参加型看護計画を実践することで、明確な目標と具体的な計画を立案できました。A氏の不安を完全に払拭するまでには至っていませんが、退院へ向けて一歩踏み出すことができた、という報告。

## 演題「『今度こそがんばりたい』と願うA氏からの学び～参加型看護計画を通して～」 3階病棟 後藤さん・丸尾さん

50代のA氏は以前、高血糖で入院した時、栄養指導を受け体重減少に成功しましたが、仕事が多忙ですぐに挫折してしまいました。「今度こそ頑張りたい。病気についてきちんと知りたい」という願いから、病態の理解とセルフコントロールについて患者参加型看護計画を立案。計画にサインをする際、A氏は「これ、誓いみたいね」と言ったそうです。自分自身の計画と自覚することが、実践する力につながった事例でした。



## 報告「臨床指導者研修講習会～看護、そして育てるということ～」 6東 鈴木めぐむさん

昨年度、千葉県看護研修所での2か月間におよぶ研修の報告。たくさんの学びの報告の中で、印象に残ったいくつかの言葉を紹介。○学習権「女性も男性も、より健康な生活を営もうとするなら、彼らは学習権を持たなければならない」○評価「最大限のものさしをあてる」○自立とは「人間関係に身を置く覚悟を備えた状態」○『なぜ』『どうして』を多用しない(指導されていると感じず、責められていると感じる)看護学生の臨床実習を受け入れるときに、役に立つ報告でした。



**参加者は44名** 参加者が少なく残念でしたが、深く考えさせてくれる発表ばかりでした。  
**次回の看護ゼミは11月15日(金)17時～18時です。演題発表は“オペ室”“4東”、学習は“新病院建設について(予定)”です。**  
**みなさんの参加を、ゼミ委員一同お待ちしております。**